

まちづくりに関心のある若者とのタウンミーティング（要約）

テーマ：若者の視点で松山市を考える

令和8年4月17日（金曜日）

【市長】 皆さん、改めましてこんばんは。今回、タウンミーティング149回目なんですけど、「こんばんは」って言った時に、シーンとなるような時もあったりするんで、やっぱりレスポンスというか、こうやって「こんばんは」って言ったら、「こんばんは」って声が返ってくるのは、とても嬉しいなというふうに思います。ましてや、コロナの時は、マスクして距離を保って、そんな感じだったですから、本当に嬉しいなと思います。今日は週末の金曜日ですので、いろいろとお忙しかつたのではないかなと思いますけども、お集まりをいただきまして、ありがとうございます。皆さんはマツワカの第7期メンバーとして活動され、2月に開催された集大成のイベント「マツワカドリームセッション」では、過去最多2千人を超える来場者がお越しになったと聞いています。そして、「みるぼんモナカ」ですかね。食べさせてもらいました。美味しかったです。あまり前の話が長くなったらいかんのですが、南商事さんですよ。たまたま、私は南商事さんの75周年のパーティーをやっているホテルの会場で会をしていて、出会った方が「市長さん、ちょっと来て挨拶してもらえませんか」みたいな流れで挨拶したことがあって、それで「みるぼんモナカ」につながって。食べたら、モナカがあっさりしてて、でも中のアイスは濃厚で美味しくて、上手に作ってるなと思いました。これは今日、真っ先に言いたいなと思いました。若者ならではのアイデアを発揮してもらっていること、とても嬉しく思います。まちづくりで大切なのは、「若者、よそ者、バカ者」っています。バカ者って、本当にバカって意味じゃなくて、ちょっと突飛なアイデアという意味ですね。若者の視点も大事。よそ者の外から来た人の視点もとっても大事だと思ってます。今日のタウンミーティングですけども、さっき149回って言って驚いてもらいましたが、私が市長に就任した時から始めています。市長の任期は1期4年なんですけども、まず1期目の4年間では、旧の松山市、旧北条市、旧中島町で全部で41地区に分かれるんですけど、1期目の4年では、この41区を2巡りさせてもらいました。そして2期目からは、この地区別のタウンミーティングに加えて、世代別のタウンミーティング、職業別のタウンミーティングをやってます。世代別は、皆さんみたいな高校生、大学生、専門学校世代の方もですし、子育て世代の方、また、働き盛りの方に集まっていただいて、また、人生の先輩方、おじいちゃんおばあちゃんの世代にも集まっていただいて。若い方でいうと、松山市はこども計画っていうのをつくった時に、中学生のタウンミーティング、小学生のタウンミーティングもしています。全ての世代でやっている。そして、職業別のタウンミーティングっていうのは、例えば、農業をしている方に集まっていただいてのタウンミーティングとか、商店街の方々に集まっていただいてのタ

ウンミーティングとか、コロナの時には経済の実態をよく知っている金融機関の方々に集まっていたのタウンミーティングをしています。今日もそうなんですけど、松山市の取組を知ることができて勉強になった。そんな声をよくいただいたので、3期目からは「広報タイム」を2回入れることにして、現地・現場で汗をかいている職員が、皆さんに松山市の取組をご紹介させていただく、そんなコーナーを2つ設けております。そして、現在4期目でタウンミーティングは149回目ということになります。いただいたご意見は、できるだけこの場でお答えをして帰ります。でも中には、財政的にちょっとよく考えないといけないとか、国と関係する案件とか、愛媛県と関係する案件など、いい加減な返事をして帰るわけにいかないですから、そういうものは一旦持ち帰らせていただいて、1カ月をめぐりに、必ずお返事をするっていうのが、この松山市版のタウンミーティングの特徴でございます。やりっぱなしにはしませんよ、聞きっぱなしにはしませんよっていうタウンミーティングです。今日の90分間ですが、笑みがこぼれているのはいいことです。やっぱ緊張していると90分間疲れますから、どうぞ肩ひじ張らずに、市長もこういうタイプですから、ざっくばらんな意見交換ができればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【参加者】 こんにちは。めっちゃ緊張しています。今、心臓バクバクなんですけど。ちょっと僕は、1つ目の「住み続けたい魅力あるまち」っていうのを考えたつもりなんですけど、2にも触れる可能性があります。今回考えたのは、学生に優しいスーパーやまちを増やしてほしいということです。松山市は大学や専門学校が多く、学生が非常に多い地域です。その一方で、一人暮らしをしている学生の中には、経済的に余裕がない人も多く存在しております。僕も実際に、今お金がなくて、ご飯食べていくのでやっとな、みたいな感じなんですよ。で、そこで注目したのが、食品ロスの問題です。愛媛県では、まだ食べられるにも関わらず廃棄されてしまう食品が多く、その中には形が悪いという理由だけで廃棄されてしまう野菜が多く含まれてます。実際に、久万高原町にある「久万山デリラボ」っていうお店は、規格外の野菜を加工、販売する取組を行っております。このような仕組みを、松山市にも広げることで、食品ロスを削減することにつながるだけではなく、学生が安く商品を購入できる環境づくりにもなると考えました。また、必ずしも加工にこだわる必要はなく、訳あり商品として安価に販売するだけでも十分効果があると考えております。捨てられるはずだった商品を有効活用できる点で、事業者にもメリットがあると思います。このように、食品ロスの減少と学生支援を組み合わせた取組は、松山市民をより住みやすいまちにする方法の一つになっていると考えます。

【市長】 ありがとうございます。食品ロスについては、ちょうどエキスパートがおります。本来は「広報タイム」で「食品ロスを減らしましょう」というテーマでしゃべってもらおうと思ってたんですけど、マイク渡してあげて。

【環境・ゼロカーボンシティ推進課職員】 ちょっとネタバレになってしまうかもしれないんですけども。率直なご意見ありがとうございます。松山市でも、フードドライブという取組を後押ししております。聞いたことないですか。後でぜひ聞いていただきたいんですけども、余った食べ物をお困りの方に届けるという活動が市内で行われています。学生さんでもやっています。やり方とか、そういうのを松山市環境部の方でサポートしておりますので、よかったら後でぜひお話をさせてください。

【市長】 松山の特徴として、ものすごく物価が安いっていうのがあるんですよ。私も学生時代は、ちょっと親と喧嘩しましてね。「もう、仕送りなんかいらない」って言って、愛媛なんで、ダンボールのみかんでしばらくすごしたことがあったんですけど、やっぱりあんまりもちませんね。「ごめん」って言ったことあるんですけど、僕もそんなに裕福な家庭でもないの。もう本当に普通の家の子なので、大変だった思いがあります。松山はまだ物価安いです。ものすごく物価安いです。全国の中でも物価が安いっていうのは出てます。そんな中なんですけども、あんまり長くないようにしようと思うんですけど。日本の食料自給率って、確か40%弱ぐらいなんですよ。海外からいっぱい食べ物を輸入して、実はいっぱい捨ててるっていう、おかしいですよ。世界で言うと、「お腹減った、お腹減った」って言いながら亡くなっていく子も実際にいるので、やっぱりおかしいなと思ってます。先ほど職員の方から申し上げたように、フードドライブのようないろいろ活動が、以前に比べてぐっと出てきているので、そういう中でやっていけたらいいし、これ、大人だけの話ではないので、学生さんも十分に参加できるものなので。また、ちょっと傷んだ野菜や果物も食べましょうよっていう雰囲気は、昔に比べて出てきているので、良いことかなと思ってます。みんな、世界には食べられなくて死んでいく子たちもいるので、食べ物を大事にしていきたいと思います。どうもありがとうございました。

【参加者】 よろしくお願ひします。実は、野志市長と初めましてじゃなくて。私、家が和菓子屋なんですけれども、生まれて3カ月後ぐらいに、実は野志市長に抱いてもらっていたらしいです。私は知らないんですけど。今年から愛媛大学生になりました。1番についてなんですけれども、私が言いたいのが、街が若者向けに発展してほしいっていうのが意見です。愛媛大学に進学してから、結構、私の進学している農学部は、7割ぐらい県外から来た子たちがいて、それでそういう子たちと話す機会があると、結構、山口県とか九州とか、いろんなところから来てるんですけど、そういう子たちが「大街道とかすごい発展しててすごいね」って言われるんですよ。いざ1週間ぐらい過ごしてみて、また話してみると、「いざ歩いてみたら、カラオケとかばかりで、長時間友達と過ごすには何かちょっとな」って言われることがあるんですよ。実際、私も友達とかと大街道とか歩いていると、結構シャッター街みたいな感じになって、昼間でも何もなくてシャッターが閉まっちゃってるようなところも多く、「大

街道・銀天街って、やっぱちょっと寂しいよね」っていう会話を、ここ数カ月で何回かしたことがあるんですね。それでちょっと前に何かサブカルチャーのイベントとかを、県文の方でやってるのとかも、結構みんな参加して楽しいねっていうふうに言って。時々、大街道の方でも、例えばハンドメイドの何かマーケットとかもやってたりして、そういう時は結構みんな長時間歩いて楽しいねって言って過ごせるんですよ。だから、いきなりシャッター街を改善することは無理だったとしても、何かそういう若者とかが歩いて楽しめるようなイベント、そんな小さくなくてもいいので、そういうイベントとかを土日とかか片方だけとかでもいいので、やってもらえたら、なんか楽しく友達と過ごせるのかなと思ったので。そういう何か若者がすごく楽しく過ごせるような何か、もう少し大街道あたりに増えたらいいのかなっていうのが私の考えです。

【市長】 ちょっと私から言いましょう。私、松山南高なんですね。もう勝手な論理、松山南高は銀天街に近いから、銀天街は俺たちのもの、大街道は東高のもの、みたいな、勝手な分類みたいながあって。私、58歳なんですけど、言ったらもう40年前のことですよ。ちょっと真面目に俯瞰してみると、商いが、商売が変わりました。それはやっぱりインターネットショッピングが出てきたことで、うちの親戚なんかは大街道で帽子屋さんをやってたんですけども、閉めてます。家でパソコン見て、良いものがあるって、それ買おうって言ったら、もう昔みたいに対面でお店に行って買わなくても、支払いもできるし、届けてくれるっていう形になっているので。それプラス、コロナが大きな影響を与えました。元々、松山の中心商店街は空き店舗率が10%ぐらいだったかな。全国でも健闘している商店街だったんですけど、やっぱり商いの仕方が変わったのと、コロナが大きな影響を与えてしまったっていうところがあります。昔は本当に、商店街って帽子屋さんがあったり、糸屋さんがあったり、ボタン屋さんがあったりとか。ちょっと例えて言うと、そば吉さんってあるでしょう。そば吉さんって、元々は大街道の吉田屋さんっていう万年筆屋さんだったんだよ。上手に時代を捉えて、業態転換をしていかれた。他はどうかと言う話ではないんですよ。やっぱりビジネスが変わりましたねっていうところはある。今やっぱり、食べ物屋さんが増えたかなっていう感じがあります。今、私たちとしても、空き店舗はできるだけ少なくしていきたいので、「チャレンジショップ」っていうのをやれるようにしていきます。お店やってみたいなっていう人が少ない金額で出せてっていう形で、他の都市の事例なんかを見ても、1カ月ぐらいで区切った方がいいですよっていう話もあるし、いやいや調子がいいんだったら3カ月ぐらいやった方がいいですよみたいな話もあるし。そういった意見も踏まえながら、ちょっとチャレンジショップをやっていくような形でやってます。三津浜商店街は、そのチャレンジショップが成功した事例でもあります。ですので、ちょっと時代の変遷も捉えながらやっていきたいし、銀天街のいわゆる昔の「GET」のところが大きく店舗が今空いているんですけども、

あそこが成功するか、様子見してらっしゃる方って実際いらっしゃるんですよ。あそこが成功すれば、店出してもいいし、成功しないんだったら、ちょっとなっている方もいらっしゃるので、そこがしっかりと成功するように。あそこは民間の土地で民間の建物になるけども、松山市としては全力で支援しますっていうのを申し上げてます。実際に交渉しているところです。さっき冒頭に申し上げた銀天街は、南高の物、大街道は東高の物って勝手に言いましたけど、やっぱり思い入れがあるので、できるだけまた元気な商店街に戻っていきたくいし、商店街の皆さんの協力も得ながらやっていきたいと思っています。

【参加者】 こんにちは。さっきの2人と少し話が違うんですけど、小学生の発達支援についてお聞きしたいことがあって。私は松山市内の児童クラブで働いていて、その時に学校に関わることがあるので、気になった点がありました。まず私の働いてる小学校、人数はそんなに多くないんですけど、外国籍の子が数人いまして、その子は言語の壁があるので、その子1人に対して、1人とか2人とか、個別の支援を行っているっていうのがあるんですけど。日本の子でも、言語の壁がなくて大丈夫だっていう子に対しても、結構、今で言うとグレーゾーンとか、個別に支援が要るんじゃないかな、みたいな子がたくさんいるなって感じて。その子に対しての支援があまりされていなくていうのを感じています。だから、そういうところの支援をもっとしてほしいなって。何か発達に問題がある、小学生の時はあんまり差は感じないのかなと思うんですけど、もっと大人になった時とかに差が広がったりとか、ハローワークに取材に行ったことがあるのですが、そういうところで職探しに難航している方は、結構グレーゾーンの方が多いっていう話も聞いたので、そういった若者、成長していく子が生きづらくならないように、そういう支援をしていただきたいなと思っています。

【教育委員会学校教育担当次長兼教育総務課長】 ご質問ありがとうございます。松山市の小中学校では、先ほど言っていたように、外国人の方や帰国子女など、日本語の支援が必要なお子さん1人に対して1名の日本語支援員を配置して、学校生活等をサポートしています。それだけではなくて、学校に、学級支援員や学校生活支援員を配置して、例えば、障害のあるお子さんや多様な教育的ニーズのあるお子さんが共に学ぶことができる教育環境を整え、支援をしています。

【市長】 これは公がやるべきことだと思うんです。そういう支援は、私たちが子どもの頃に比べると、支援は厚くなってるかなというのは感じます。もう僕らが子どもの時は本当に、今みたいなことはなかったもので、厚くなってきてるかなと思います。また文部科学省の人と話すこともあるんですけど、昔はもう「学校には行くものだ、給食は全部食べるものだ」、「給食残しちゃいけませんよ」みたいな。もう今、違いますよね。学校だけが行き先ではないみたいな、今うまく言えなかったんですけども、いろんな進め方があっていいんだみたいなことを言われるようになりました。ミセス

の大森さんですけど、大森さん、私テレビで見たんですけど、中学ほとんど行ってらっしゃらないんですってね。天才だと思いますよ、あの音楽。やっぱりいろんな道があっていいと思うので、そこはやっぱり公として、できるだけの支援をしていきたいと思っています。よろしくお願いします。

【参加者】　すごい緊張してるんですけど。全然違う話になるんですけど、ミュージカルをしてるので、野志市長は市民ミュージカルに出られてて、今日会えて嬉しいです。

【市長】　とんでもないです。

【参加者】　また変わるんですけど、小学生とか中学生の時に、地域の行事に参加できるのが、すごく地域が好きなので、そういうのが楽しかったんですけど、高校生になってから、そういう地域の行事とかに参加できなくなる。公欠とかにならないので、参加できなくなって、地域との関わりがなくなってきたのがすごく寂しくて。魅力的なまちづくりっていうふうに出されてるので、マツワカとか、こういうふうには高校生でもできる、まちと関われる場所もあるんですけど、そういう伝統的な地域の行事とかに参加できるようにもっとなればいいなって思っているのと、さっき商店街のことも言ってたんですけど、私、松山商業高校の者なんですけど、松山商業高校は、東高さんも近いんですけど、銀天街は松山商業高校も行くので、結構、放課後とかに行ったりするんですけど、「門前まつり」とかあるみたいに、高校生でも出店できたりとか、やっぱり、もっと人が来てもらうってなったら、若者がやってるからこそ、若者が集う場所に来てもらえるんじゃないかなと思うので、ちょっと高校生とかも出店できたりとか、そういう行事をもうちょっと増やしていただけたらすごく嬉しいなって思います。ありがとうございます。

【市長】　分かりました。ありがとうございます。公欠にならない。なるほどなと思いました。お気持ち分かります。「門前まつり」のことはちょっと私の方からお答えしようかな。じゃあ地域での行事について、まちづくり推進課長お願いします。

【坂の上の雲まちづくり部まちづくり担当副部長兼まちづくり推進課長】　先ほども言われていたように、高校生になると地元以外の学校に通われたり部活であったり勉強であったりということで、なかなか地域行事に参加するタイミングがないという方もいらっしゃると思います。ただその一方で、私は日頃、地域の方と関わっておりますが、そういう若い皆さんにはぜひ関わっていただきたいという思いを強く持っております。例えばですけども東雲公民館では、松山商業の家庭クラブの皆さんに子ども食堂を手伝っていただいたり、あるいは浮穴とか北条とかの公民館では、高校生の皆さんが体育祭であったり文化祭であったり、イベントを盛り上げてくれたりしています。また、地域住民で活動している、まちづくり協議会というのがあるんですけども、このイベントにも多くの高校生に参加していただいております、例えば北条

では、地元の高校の吹奏楽部に演奏していただいたり、松山工業高校の皆さんが子ども向けに遊具を手作りで作っていただいたり、特技を生かした地域貢献もしていただいています。こういった公民館や、まちづくり協議会のイベントは、町内会の回覧板を、紙ベースのものが基本になりますけれども、各家庭にお配りもしています。まずはイベントの方に、ちょっとお顔を出していただいて、そこにいるスタッフに、ぜひ何か参加したいんだということをお伝えいただければと思いますし、なかなかそういうのもできないということであれば、私がいるまちづくり推進課にお電話いただければ、地元の公民館なり、まちづくり協議会をご紹介もさせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

【市長】 遠慮なく地域の人に言ったらいいと思う。おいちゃんおばちゃん、私、何か参加したいとかって。っていうのがね、コロナの時に、地域行事で、例えば獅子舞とかそういう地域のお祭りがあるんですけど、「もう市長、コロナの期間はもう伝承ができませんので、ここがスカーン開いてしまうんよ、大変なんじゃがね」って聞いたことがあるんですよ。で、地域のおいちゃんおばちゃんらからしたら、高校生とか中学生が参加してくれたらもう大歓迎だと思います。確かに公欠にならないっていうのはあるとは思いますが、できたら土曜日・日曜日・祝日とか、夜とか、ちょっと工夫をして出れたら、もうおいちゃんおばちゃんたちも大喜びだと思います。それと松山商業さんには「門前まつり」、いつも11月ですよ、盛り上げていただいてありがとうございます。今度、銀天街の方々と話をするようになってるんですけど、ある他の都市のやり方で、今日はちょっと言わないでおくんですけど、あるやり方で若者が入っていきやすく、実は間口も広いっていうようなまちづくりを教えてもらったので、銀天街の方々に言おうと思ってるんですよ。みんなにも喜んでもらえるような、またみんなも参加しやすいような、やり方をこの間、ひらめきと教えていただいたことがあるので、そんなことを言おうと思ってます。そんな答えでいいでしょうか。

広報タイム①「家具転倒防止対策の必要性」

【参加者】 お願いします。自分自身は松山市出身ではなくて、香川県の方から大学進学とともに参った者でございます。自分が香川県から松山市に引っ越してきて、良かったと思う点でしたら、やっぱり交通とかの部分で利便性がいいっていうところが特に印象に残っています。そのことにちょっとつながっていくんですけども、つい最近というか、J R松山駅が新しくなってすごく綺麗になったっていうんで、実際、自分はとても野球が好きで、この前、坊っちゃんスタジアム行くのに、J R松山駅を利用させていただいて、すごく綺麗な駅だなと思ったんですけども、正直申しますと、J R松山駅自体はすごく綺麗なんですけども、何かその周辺っていうかまだちょっと、松山駅が解体されてとかっていう部分もあると思うんですけど、少し寂しいなっ

という印象があつて。例えば個人的にほしいものとするれば、ショッピングモールがほしいなと思ひまして、自分は中心街に居るので、ショッピングモールに行くにはエミフルがある松前まで行くのが、ちょっと大変なので、松山駅周辺とかにできたら、より松山駅自体も盛り上がり、またTGC（東京ガールズコレクション）が今度開催されるのであれば、ショッピングモールとかもできたら、より明るく盛り上がるんじゃないかなと思ひます。

【市長】 ありがとうございます。香川の何市、何町から来てくれましたか。

【参加者】 自分は、高松市の横にある、三木町というから来ました。

【市長】 三木町分かります。ありがとうございます。JR松山駅周辺のことについて私の方でお話をさせていただきます。どうしても時間はかかるものなんですけども、最短でやろうと思ひてます。お隣、香川の高松市さんなんですけど、高松駅ってできたのが2001年なんですよ。高松オルネっていう駅ビルができたのが2024年なんですよ。23年かかっているんです。今から23年経ったら、私58歳って言ったでしょ、81歳になってますから、そこまでかけるつもりは全くない。最短でやります。今日は3月13日の記者会見で発表した松山駅周辺がこういうふうになりますよっていうのをちょっと見てもらいましょう。まちづくりのイメージ、松山駅周辺まちづくりプランの方、出せますかね。できるだけ分かりやすくしゃべります。これをもとに、あんまり長くならないように、できるだけ分かりやすくしゃべります。ここがキスケさんの上だと思ひてください。皆さん鳥になったと思ひてください。駅を見ているっていう形です。ここ大手町です。大手町から市内電車が入ってきて、こっちに行くとなぎラン松山、こっちに行くとなぎ公園の方っていうことになります。ここが松山駅の周辺ですね。いくつかイメージ図があるんでまたお見せしますが、ここには、ショッピングセンターとか商業であったり、子どものアミューズメント。今、夏は、最高気温が30度ぐらいじゃなくて35度とか36度まで上がります。

「夏、すべり台をすべろうと思ひたら、市長さんお尻焼けるがね」なんて、そんなこと言われますけども、暑さ寒さ関係なく子どもが楽しめるような、子どものアミューズメントとか、もちろん飲食とか、そういったものをあれだけ広い区画、いったら9区画あるんですよ。全部松山市のお金でやろうと思ひるのは、ちょっと無理がありますよね。松山市のお金でやるってことは税金でやるっていう話だから。9区画を全部税金でやろうと思ひたらちょっと無理があると思ひます。ですので、民間さんの力をできるだけ活用させていただいてやろうとしています。コロナの話をしましたが、松山で最初の患者さんが出たのが令和2年3月なんです。5類になったのが、555で覚えていただいたら、令和5年の5月に5類に変わった。3年2カ月、コロナの期間があるんですけど、コロナが5類になったら、経済が元に戻りましたってなるわけじゃないですね。約4年ぐらいは経済が止まっていた。そんな中で、サウンディング型調査っていう、対話型、サウンドって響くとか、サウンディング型調査っていう、

民間さんと、この松山駅周辺をよくしたいんですけど、関心のある方は手を挙げてくださいって全国に募集かけたんですよ。そうしたら4年経済が止まっていた中で、23社が手を挙げてくれた。名前は言いたいよ、記者会見でね、僕も言えたら楽だから。分野で言うと、開発とか建築とか運営とかの分野で、東京本社で全国展開の会社がその23社の中にはいっぱい入ってる。ある方は四国で最後の大型物件っていう方もいらっしゃるぐらい注目の案件ではある。いっぱい手が挙がった。1回でサウンディング型調査って終わるわけではなくて、2回3回と、企業の皆さんのアイデアを集めてつくったのがこれです。4月になったから新しい年度に入ったので、今度は今年度で、じゃあどこをやりますかっていうのは決まっていく。時期が来たら、ここはこの企業さんとやりますよっていうのを発表できるようになります。次見てください。これが西側から見た図です。これ松山城です。今、アリーナってなってますけども、3月13日に松山市としてこのモデルプランを発表して、4月の下旬に、オレンジバイキングス、バスケットのチームを持っているサイボウズの青野社長が4月下旬にサイボウズとしてはこう考えますっていうプランを出すことになってます。4月下旬だから、もうすぐですね。今、松山市はここにアリーナをってしてしてますけど、松山駅周辺、行ったことある。ここは今、土が盛られているでしょう。あの土は何をするかという、横にアンダーパスって行って、新空港通りに行くところ、下くぐってるでしょ。あそこに高架ができたから、アンダーパスがある必要ないんですよ。よく全国ニュースで見る、今、雨が降る時はものすごく降って、降らない時は極端に降らないので、あそこをアンダーパスにしとくと、水没する危険も出てくる。なので、高架になったからアンダーパス必要ないので埋めます。その土が今ここにあると思ってください。土は、実はね、できるだけ分かりやすくしゃべりますね。こっちが東、こっちが西側。松山駅って、東側の土地が高いんです。西側の土地が低いんです。今までは線路で分断されてたからあんまり気にならなかったけど、線路が高架になったから一体化するためには、駅の東側を盤下げって、地盤下げるんです。同じ高さにする。盤下げをしたらここに土が出るでしょ。その土をまたアンダーパスの上に戻して使うんです。土は捨てようと思ったら処分費がかかる。そのお金は何か、税金。土を買おうと思ったら、そのお金は税金。できるだけお金がかからないように、総合的に考えながらやっています。そういうようなところですね。これ西側から見た図で、ここに立体駐車場があるのはわかっていただけかと思います。これ、上の方に上がっていくスロープですね。松山城、総合公園があるから、緑がないとおかしいですよ。ここだけ緑がない。緑をふんだんに配していく。おそらく、今また松山駅の周辺に行ってくれたら、広島のマンションメーカーさんが土地を持っています。看板が出てますけど、マンションは建つでしょうね。すごい便利なところですよ、松山駅のすぐそばだから。東予に行くにも南予に行くにも、県職員さんなんかで、宇和島勤務になったりとか、新居浜勤務になったりする時もあるんでしょうけど、すごい便利ですよ。マン

ションは建つでしょう、ホテルも建つでしょう。立体駐車場もできるでしょう。次です。これ正面から見た図ですね。大手町から松山駅を見た図です。テントなんか張ってますね、芝生張ってますね。イベントができるスペースで、市内電車が入っていて、ここが松山駅の新しい電停になります。濡れないで済む。私の話があまり長くなったらいかんのやけど、今、松山駅の路面電車の電停ってJR松山駅に行こうとしたら、地下通路を通るでしょう。地下通路のメリットは、絶対に交通事故に遭わないってこと。車来ないから、地下通路には。だけど今、時代は変わった。観光客の方がスーツケース持って、路面電車で松山駅で降りたら、JRに乗り換えようと思ったら、スーツケースをガタガタしながら階段を降りていかないかん。ベビーカーのお父さんお母さんが、ベビーカーこうやって階段昇り降りしていかないかん。足の不自由なおじいちゃんおばあちゃん、階段を降りて地下通路でJR松山駅行きますか。もう時代は変わった。地下通路は、絶対車の交通事故に遭わないっていう利点はあったけれども、総合的に考えて松山駅に電停は入れていく。そうすると地下通路必要ないですよ。スーツケースを持った観光客の方もいいし、ベビーカーのお父さんお母さんもいいし、足が悪くなったおじいちゃんおばあちゃんも大丈夫。もう一つ出るかな。これちょっと俯瞰から見た図ですね。大手町からJR松山駅に電車が入ってくる。こっちに行ったら宮田町、フジグランの方に行きますよ、総合公園の方ですよっていう形です。こういう図を見ていただきました。このまま置いといてください。総合的に考えながらやってきたつもりです。これで最後にしますね。三角屋根の松山駅は71年使ったんです。ですから、今80年から100年に1回のまちづくりが、松山駅周辺では起こっているというふうに思ってください。お隣の県庁所在地の高松の例を言いました、23年かかったんですよって申し上げたけど、確かに、関係者が多いとまとまるのが大変なので時間はかかるんですが、最短でやります。アリーナが5年後だった。にぎわい施設が7年後ですよ。全体が7年後完成の予定ですが、最短でやります。道後温泉本館の修理は平成18年には11年かかるって言ってたんですけど、結局5年半でできたんですよ。前倒し、前倒しでやっていくし、オープンしたところから部分的に開業していくこともできるので、できるだけ早くやっていきたいと思っております。ちょっと皆さんお待たせしてまますけど。道後は100年に1回の大修理が終わって、子どもや孫の世代に引き継いでいけるようになりました。松山市駅は今年の秋に再開発が完了します。これは50年に1回のまちづくり、JR松山駅は80年から100年に1回のまちづくりで、これもできるだけ早く完成させたいと思っております。お金のことも、よく考えながら、みんなに引き継いでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

【参加者】 こんばんは。以前、ふるさとふれあい塾っていう授業を受講させていただいて、いろいろお話を聞かせていただいたりとか、あと最近だと、観光・国際交流課

の課長さんのところにJR松山駅の再開発案のことをプレゼンテーションさせていただいたんですけど、それと近いことで、今思いついたことがあったので意見を述べさせていただきたいと思うんですけど。あの辺、道路の整備で4車線になってすごく道路が広がった部分があったりとか、ようやく道が開通して、そのアンダーパスのところはなくなって、新しい道ができてるところがあると思うんですけど、その辺で一方通行のところがあると思うんですよ。あそこの辺に自分が住んでいて、あと働いてるところもその場所で、よく逆走してる様子が見受けられるんで、毎回毎回、プププってなったりとか。あと、近くにスカイホテルがあるので、そこの駐車場の人がおいおいって言うふうに言って、止めてる様子だったりとかよく見受けられるんで。過去に衝突はしてないけど横転してる様子っていうのも見たことがあったので、あそこの道、相当危ないと思うんですよ。なので自分としては、もう一方通行じゃなくて、普通の道路のように左走行っていうのが実現できたらもっと望ましいかなと思うんですけど、その辺の整備っていうのを今後していただけたらなというふうに思っております。

【市長】 おそらくスカイホテルのお名前が出たので三番町通りですかね。松山市民病院とかスカイホテルとか、まっすぐ進んで行ったら中央郵便局とか、あの通りですね。確かに一方通行です。これは都市整備部副部長お願いします。

【都市整備部交通拠点整備担当副部長】 ご質問というかご提案ですね、ありがとうございます。なんで一方通行にそもそもなっているかっていうと、中心市街地、やっぱり車、特に私たちの世代、子どもの頃ってすごく人口が多かって、車もみんな持つようになって渋滞がひどかったりとかしますよね。そうすると、街の中に車が入ってきて渋滞したらいけないとか、そういったことを総合的に考えて一方通行にしたり信号の時間を決めたりとかいろいろしています。松山市もそれも考えますし、警察と協議しながらやっているんで、なかなか道路のルールを変えるのは難しいんですけども、実は全く同じことを、前回のタウンミーティングでも、若い方があそこを逆走してるのをよく見るよって言っていただいたんですよ。私の方はあんまりそれを把握してなかったんですけど、そういうご意見いただいたんで、実は警察さんと協議させていただきました。警察とも協議させていただいたし、松山市の道路の管理をしている課ともその相談をしまして、おそらく横の道から出てくるようなところが、一方通行って気づかずに入ってしまうことも多そうだなって、現地をちゃんと確認してくれまして、そういうところには間違っただけ逆走しないように案内をするっていうことで対応させていただいていましたので、まさにその部分、今ちょうど対応させていただいているところなんです。加えてこの辺が危ないよっていうところがあったら、また追加で調査をして対応もできると思うので、もしよかったら、終わった後にまた聞かせていただいたらと思います。よろしくお願いします。

広報タイム②「食品ロスを減らしましょう」

【参加者】 こんばんは。実はOBです。松山南高校で。

【市長】 いや、さっきしまったなと思ったのは、松山商業も銀天街に行きますって言って。勝手に、銀天街は私たちのものだと思ってるって言って、ちょっと反省しました。

【参加者】 分かります。私たちもよく使っていて、すごい大好きなところなんです。私からは、私はよく学校に行くのに自転車で行くんですけど、今って、その自転車、青切符制度が今年の4月から始まって、でも乗り方だとか、ちょっと制限がかかったりとか、今まで以上に気をつけないといけないっていう意識を持ってるんですけど。その、その規定が年齢16歳以上からって決まってるんですけど、交通ルールをまだしっかり把握してない中で、いきなり言われ出したから、すごくこっちとしても戸惑ってるし、その下の世代も、16歳以下の世代も知らないから、でも成長って止められないから、でも自転車のそんな乗り方なんていちいち教わってないし、どこ走るだとか、ここ走っちゃいけないとか、もうしっかり全て教わってるわけじゃないから、すごい戸惑ってると思うんです。なんで、今、松山市でもちょっと人口とかも少なくなってる、バスの料金とかもちょっと高くなったりとか電車の料金とかも高くなったり、本数とかもだいぶ減ってると思うんです。お金に負担をかけたくない人は自転車やっぱ使うと思うんで、道幅の整備もそうだし、もっとなんだろう、子どもたちにその自転車を使いやすくしてあげる環境というか、例えば、小学校とか中学校とか高校とかで、交通ルールの講義だとか、ここは通っていいんだよとか、そういうのを教えてあげる機会がもっとあったら、こっちも安心して、また松山のいろんなところを自転車で巡って楽しいなって思います。

【市長】 分かりました。ちょっと私の方からいきましょうか。まさに今のタイミングでのご発言かと思えます。4月からですかね、自転車の青切符制度が始まって、みんなテレビで見るとかかもしれないけど、騙されないようにね。そこで、あなたは違反ですから、ここでお金払ってください、みたいな、これ詐欺ですからね。絶対ないですから。もしあったとしても、青切符を渡されて、後日お金を納めるっていう形なんです。そこで渡すみたいなことは絶対ないので、詐欺ですから気をつけてください。今、ちょっと周知を、警察さんと連携して、より深める、より回数を増やすなどしないといけないかなと思えました。徐々に定着はしていくかと思うんです。どちらかというと、私が認識してるのは、青切符切られるのは、ちょっと悪質であるっていう場合に切られるというふうに認識をしています。ですので、徐々に浸透はしていくのではないかなと思ってますけども、やっぱり今、お話を聞いて、ちょっと不安に思ってるみたいなところがありましたので、警察さんとも話をし、周知を増やしていく必要があるのかなと思えました。松山市では、小学校3年生から、「子ども自転車免許

証」っていうのを配っています。何で小学校1年生じゃないかっていうと、小学校3年生ぐらいから自転車乗り出すんですよ。「子ども自転車免許証」っていうのを出して、例えば、プールのアクアパレットが無料になるとか、そういう特典をつけておかないと、「子ども自転車免許証」ってルールを書いてるんですけどね、そういう特典付けとかなないと、ただ捨てられるから、そういう「子ども自転車免許証」、小学校3年生から、まず校庭で実地訓練とかするんですけど、そういうのをしてくれたら、理解してくれたらお渡しするんですけど、青切符制度が導入されたので、啓発をまた警察さんとも相談しながらやっていけたらと思います。ありがとうございました。

【参加者】 こんにちは。野志さんには高校時代に、きらめき松山市民賞いただきまして、その上に会えて嬉しく思います。2番の方なんですけど、公園が今、本当に機能しているのかなっていうのは僕すごく感じていて、松山市にずっと住んでいるんですけど、ボール遊びが禁止の公園がほとんどだと思っています。コロナ禍以降、子どもの体力テストの数値が下がっていたりとか、肥満化傾向が進んでいるっていうのは、やっぱり公園で遊ぶ子どもっていうのが減っているっていうのが大きいんじゃないかなと思っています。住民の方、何て言うんですかね、公園が少しうるさいだったりとか、何かそういった声の影響で、僕は公園でボールを遊ぶ機会が減ったのかなって思っているんで、今、公園たくさんあると思うんですけど、公園の過疎化みたいなのが進んでいると思うので、その辺に対して、今、松山市さんがボール遊びを禁止にしていることについて、どう思っているのかなっていうのをお聞きしたいです。

【市長】 私の方からお答えをします。私は中学校の時、野球部で下手くそやったんで、昔はプロ野球選手になれたらええかなと思っていたんですけど、下手やって、でも野球が大好きだからプロ野球選手にはなれんけど、野球に関わる仕事がしたいっていうので、野球の実況や取材ができるアナウンサーを高校時代から目指したのね。なかなか通らない、ましてや、ふるさとの放送局で仕事したかったから、限られるので、普通だとなかなか受からないよって言われてたので、大学では落語研究会で話術を鍛えるっていうことをしていました。何とか放送局に拾ってもらったんですけど、そんな中で、僕の子どもの頃は本当、空き地で野球をすることが自由にできました。でも、どんどんどんどんなくなっていった。今、松山市では、ボール遊びのできる公園を1年間に必ず1カ所つくりますよというので増やしてきてます。実はね、あんまり長くなっちゃいけないんですけど、市長へのわがまちメールっていう制度があって、公園の横に住んでいる女の子から、中学生だったと思います。「市長さん、私は公園の横に住んでるんですけど、何とかしてください。ボールがうちの家に入って、勝手に取りに来るんです、何とかしてください」っていうメールが来たのね。で、やっぱり周辺住民の方のことも考えないといけないんだけど、やっぱりボール遊びのできる公園も増やしていかないといけないと思うので、1年に少なくとも1カ所は増

やしていくっていうのをやってきました。今でもね、地区でちゃんとルールは守ってもらわないといけないんだけど、そういうところについては、もちろんちょっとお金は要る話なんですけど、ネットを高くするとか、道路に飛び出さないためにネットを横でスライドできるとか、そういう工夫をして、できるだけ増やしてきてます。これからも増やしていきたいと思いますので、もし近くで「ここ、ボール遊びできるんじゃないかな」みたいなところがあったら、言っていたら、地区の方で合意が取れたら増やしていきますので、そういう環境は大事にしていきたいと思います。よろしくをお願いします。

【参加者】 僕も昔、市長さんと1回会ったことがあるっぽくて。

【市長】 みんなすごい。なんかすごい接点多いですね。

【参加者】 なんか多分、小学1年生になった時に、「いかのおすし」の下敷きを受け取ったことがあります。1回市役所に行った覚えがあって、それ以来なんで、めっちゃ緊張してます。ちょっと1番の方の話になるんですけど。僕、大学の方で、松山市の職員さんと、大街道・銀天街を盛り上げていくためにはどうすればいいか、みたいな話し合いを結構、少人数でさせていただく機会があるんですけど、その中で、いろんなどうしたらいいかみたいなのを考えていく中で、何かゴールというか、最終的にどのようなものを目指しているのかみたいなのが、ちょっと分からなくなってしまったりということがあったりするんですけども。せつかく、市長さんとお話できる機会なので、調べたらある程度分かることとかよりは、市長さんの考えみたいなところを聞かせていただきたいなと思っていて。市の方でいろいろ施策など考えられていると思うんですけど、大街道だったり銀天街のさっきの空き店舗の話であったり、考えられていると思うんですけど、市長さんの考える5年後10年後、その先の大街道・銀天街の理想の姿みたいなものをお伺いしたくて。何て言うんですか、観光に特化するのかとか、若者がいっぱい歩いている街だとか。そういう理想の姿みたいなものを、ちょっと難しい質問になってしまって申し訳ないんですけど、お考えをお伺いしたいなと思ってます。

【市長】 分かりました。できるだけコンパクトにしゃべりたいと思います。松山の大街道であり銀天街でありの特徴は、やっぱり愛媛大学や松山大学がすごく近くにある文教地区であると、松山北高校も近い一例で挙げましたけど、あんなにね、学校、文教地区と商店街が近いところは、なかなかないんじゃないかなと思います。私、大学岡山だったんですけど、岡山は大学と中心商店街との距離はちょっとあります。ですから、まず大街道・銀天街については、今のように若者がいっぱい歩いていただくっていうのも、すごく大事なことだし、今も、松山市の動画チャンネルの中にあると思いますが、コロナの前に、「松山中心市街地2050ビジョン」っていうのを発表してるんですよ。「2050」ってのは2050年のことなんですけど、そういう30年

後ぐらいを見越しての発表だったんですけど。松山の人々の特性って、できたら、お城の見えるところに住みたいっていうのがやっぱり強いんですよ。できたらお堀のそばに住みたい。路面電車で移動ができて、できたら朝、道後温泉でも入って、戻ってきて、家でのんびりするみたいな。やっぱりそういう志向は結構強いんです。ですから、今、ちょっとお年召した方が、お堀のそばにいっぱいマンション建ってるでしょ。そういうニーズがあるからですね。今、大街道でも、新しく大街道の中、昔、映画館だったところに、はじめてかな、マンションできましたね。買い物もうすぐそばにありますよね。今日も商店街関係者の方と話してたんですけど、大街道・銀天街合わせて1キロなんですけど、アーケードがあるから雨が降っても風が吹いても雪でも快適に歩けるんですよ。ウィンドウショッピングっていう言葉がありますけど、歩いてくれたら買い物にもつながる。高齢化社会で体が不自由になる方もいらっしゃるけども、家で閉じこもりになるよりかは、歩いていただいた方が回復が早い。人は歩いて、すれ違うと、「こんにちは、どうしよりますか」言うて、人がつながっていく。ですから、そういうアーケード商店街、まちの中心にあるアーケード商店街、私は宝だと思ってるんです。ですから、若い人にもこれからも歩いてほしいし、それと、実際に、例えば大街道の建物で、1階はみんなの目に触れる。2階はちょっと家賃は安くなって、頑張って階段上がってもらったら2階に行ける。3階4階はテナントは入りにくいんです。そうですね。3階4階なかなか見えないから。ほんなら3階4階は何に利用するかっていったら、クリニックとか介護施設とか、5階以上に住居とか。一つのやり方かなというふうに思ってます。冒頭で申し上げたように、ビジネスが変わってしまったので、私たちの頃は大街道・銀天街ってずら一つとお店が並んでたけども、もうこれは子どもの時から比べて50年は経っているので、50年経ったら、ちょっとまちのありようが変わっても致し方ないかなというふうには思っています、個人的には。ですので、そこに「集住」という言葉があるんですけど、「集まり住む」ですけど、集まり住む場所としては、大街道・銀天街っていうのは最適なのではないかなと思います。まちの宝なので、やっぱり銀天街・大街道、中心商店街については大事にしていきたいと思っています。すいません、ちょっと時間の関係があったんで、コンパクトにしゃべりましたが、そんなことを考えています。よろしくお願ひします。

【市長】 あと1問だけ行こうか。ごめんなさい、ちょっと5分延長で。あと1人、最後1人、誰かいらっしゃいますか。なかったら締めます。

【参加者】 こんばんは。自分は県外出身で愛媛大学に来て今年で3年目になります。広島と違って、愛媛の良さという、コンパクトシティっていうのがあって、どこに行くにしても、買うにしてもすぐ徒歩で行けるような近さが良さだと思うんですけど。自分は居酒屋に行くにしても、買い物行くにしても、やっぱり大街道とか栄え

てるところに行くようにしてて、でもなんか、コンパクトシティがゆえの限界といえますか、居酒屋に行くってなったら、やっぱり同じ場所に行っちゃうから、大街道からちょっと離れたところ、一番町、二番町とかで探してくってなると、結構、散歩が最近趣味でして、大街道の周りとかを歩くようになって、散歩するんですけど、上を見上げたり、歩いてると、結構錆びてる建物とか、あとは空き店舗とかが多く見られて。そういう、住み続けるまちで誇れるのは、何だろう。そのコンパクトの中で綺麗な建物が大街道の周りにほしいなっていう自分の思いでして。そうですね、持論なんですけど、自分がやっぱり人が。すみません、ちょっと言いたいことがまとまってなくて。端的に言いますと、銀天街とか錆びついている建物を補修して、景観をより良くしてもらいたいっていう願いになります。

【市長】 分かりました。できるだけコンパクトにしゃべります。全部のとはできないと思います。皆さんの民間の建物を、極論ね、税金を出して直そうとしたら、何で個人の建物なのに税金を入れて直すのっていう話になるんですよね。だったらうちも直してやって言う約50万市民の人が、うちも直してっていう話になるので、行政として、例えば今、市駅前を再開発してますけども、花園町通りとか景観整備、ファサード整備っていうんですけど、ここには補助金を入れて景観整備、統一した景観にさせていただいてます。ですので、やっぱり全部のところはできないけども、主たるところについては、松山市も補助金を入れながらやっているという部分があります。例えば、三津という古い街並みがあるんですけども、ここも古い建物を壊すのではなくて、残したいっていう方のところには補助金を入れて、古い街並みを残して、そこに新しくお店が入るとか、借りたい人と貸したい人をマッチングするみたいな取組をしています。ですので、民間の皆さんのおうちに、でも空き家補修もあつたりとか、ブロック塀の改修に補助金出したりとかしてるな。ですので、できるところは結構やっています。ですので、ちょっと全部が全部はできないかもしれないけども、できるだけ。そうか、移住者の方に対して、空き家の改修費用の補助とか出したりするから、そうか、耐震のことも出してるから、結構出してますね。すみません思い出しながら。できる限りやっていきたいと思いますんで、ちょっとそんな答えになってしまいます。よろしくお願ひします。ということで、ちょっと6分も延長させていただきました。

【市長】 本当に皆さんの貴重なお時間ありがとうございました。もう台本がないダウンミーティングとよく分かっていたかだと思います。どんな質問が出るか分からないので、私の答えもちょっと雑駁だったかもしれませんが、お許しをいただいたらと思います。最後に市役所って言うでしょ。私は皆さんにもずっと言ってるんですけど、市役所っていうのは、市民の皆さんの役に立つところで、市役所じゃなきゃいけないと思っているんですよ。ですから、どうせ市役所に言うたって変わらないじ

やなくて、遠慮なく相談していただいたらと思います。みんなもう敷居をね、高くしないで、遠慮なく、こういう人たちが市役所やってますから、遠慮なく、また相談していただいたらと思います。最後に、私たちは皆さんの世代に、いい松山を残したいと思って日々頑張ってるつもりです。松山いいところだと思うんで、またみんなの力で、いい松山を盛り上げていってほしいと思うし、マツワカ、本当にありがとうございました。またこれからも松山に関わっていただいたらと思います。今日は本当にありがとうございました。

—了—